

平成30年度

租税教育実践発表会資料



石巻市立大原小学校
教諭 浅野 梨夏

1 はじめに

税金とは、国の財政を賄う収入の最も主要なものであり、私たちが健康で心豊かに生活するために大切な役割を果たしている。現在、私たちは、消費税や住民税などの50種類以上の税を納めている。しかしながら、児童の知識は曖昧で、自分の暮らしと税が密接な関係にあることに気付いていない児童が多い。そのため、今回の学習を通して、自分たちの暮らしと税金の関係について関心を持ち、税の必要性についての理解を深めさせていきたい。

私たちの住む大原地区は東日本大震災で大きな被害を受けたが、防波堤工事や道路建設、高台住宅の整備等、復興に向け着実に歩んでいる。復興に向けた着実な歩みは税制制度に支えられたものであり、税金の仕組みや必要性等を理解させていきたい。また、税金が人と人をつないだり、災害の際に有効に使われたりしているという側面も理解させていきたい。

2 児童の実態

本学級は、5年生1名（男子）、6年生3名（男子1名、女子2名）の複式学級である。事前に「税」に関するアンケートを行った。結果が以下の通りである。

平成30年9月10日実施

質 問 事 項	回 答
① 「税金」という言葉を聞いたことがありますか。	ある 3名
	ない 1名
② 「税金」の種類で知っているものを書きましょう。	食料 1名
	分からない 3名
③ 税金はどこに集められていると思いますか。	国 1名
	日本の首都の東京 1名
	分からない 2名

④ 税金は何に使われていると思いますか。	自分たちが生活するために必要なお金 1名 分からない 3名
⑤ 税金は必要だと思いますか。	必要 2名 分からない 2名
⑥ 必要と回答した児童の理由	自分たちの生活が大変になると思ったから。 病気で入院した時の料金が高くなるから。

以上、アンケート結果から「税金」という言葉は聞いたことのある児童がほとんどだが、税の種類や税金がどこに集められているのか、何に使われているのかについては、分からない児童が多かった。また、税金の使い道について、回答した児童も自信がないと答えていることから、あまり認識がないと考えられる。税金の必要性については、理由が書けている児童がいることから、必要であることについては、理解しているようである。

これらから、「税金」について言葉は聞いたことがあるが、税金の役割や仕組みを理解している児童は少ないと考えられる。

3 指導にあたって

以上のような実態から、指導に当たっては、以下のことに留意しながら学習を進めていきたい。

- (1) 外部講師による租税教室を実施することにより、税に対する理解や関心を高め、身近な生活と税には深いかわりがあることに気付かせる。
- (2) 学習した内容を絵はがきで表現し、さらに税に関する関心を深め、税の大切さについて理解する。

4 指導計画（2時間扱い）

時 間	学 習 内 容
事前指導	「税に関するアンケート」を実施 ○税に関する読書及び調べ学習を実施

税について考えよう(1)	「租税教室」(実践授業) ○税について外部講師を招き，税が自分たちの生活に深くかかわっていることについて知り，必要性について理解する。
税の大切さを伝えよう(1)	「絵はがきにまとめよう」 ○租税教室で学習したことを確認し，改めて，税が自分たちの生活に深くかかわっていることを理解する。 ○絵はがき作りを通して，税の大切さについて考え，広く伝えようとする。

5 実践授業【租税教室】

(1) 目標

税が自分たちの生活に深くかかわっていることについて知り，税の必要性について理解する。

(2) 実施期日

平成30年9月11日(火)

(3) 本時の展開

段 階	学 習 内 容 ※児童の反応	学 習 の 様 子
導 入	1 本時の学習課題を確認する。 税金についての理解を深めよう。 2 外部講師を紹介する。 ※税金って何だろう。	
展 開	3 税金について考える。 (1) 学校と税金の関わりを例に，身近な税金の使い道を理解する。	

6 事後指導と振り返り

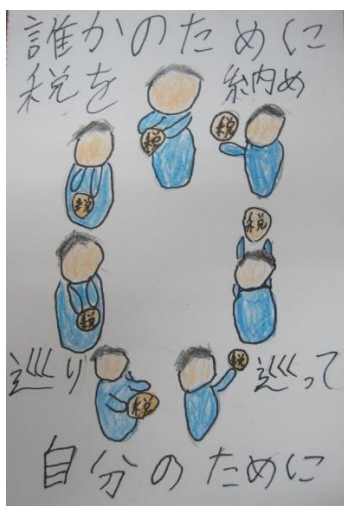
租税教室を終えて、配布された小学校社会科用資料「わたしたちの暮らしと税金」を活用し、税金と自分たちの関わりや必要性について改めて学習した。事後アンケートでは、税金の種類や使われ方について以前より理解することができたと全員が答えた。

【学習後の感想】

- ・学校や教科書は税金でできていることがわかった。前は税金のことが全然わからなかったけど、いろいろなことに使われていることが分かった。
- ・身近なものにたくさん税が使われていたり、設備や施設にも税が使われていたりすることが分かった。DVDを見て、税のおかげで自分たちが生活しているとわかってよかった。
- ・災害が起きたときにも税金で助けてくれていることが分かった。租税教室行って、税金がどんなことに使われているのかが分かった。実際にDVDを見て、税がなかったら自分たちにどんな影響があるのか詳しく知ることができた。海外には、ポテトチップス税や独身税などのおもしろい税があることにびっくりしました。
- ・学校や教科書は税金で作られていることにびっくりしました。私たちが税金を支払っていることを初めて知りました。DVDを見て、税金がなくなったら町があれだったので、税金は大切だなと思いました。



【税に関する絵はがき】



7 成果（○）と課題（●）

○税金とはどのようなものかを知ることができ、自分たちの身の回りのものの多くが税金によってできていることに気づくことができた。

○税金があることによって、自分たちが生活できていることを知ることができ、税の必要性について考えることができた。

○外部講師による授業を実施したことで、専門的な話を知ることができ、子供たちの関心が高まった。

○世界の税について触れたことで、その他の税についても興味を持ち、子供たち自身で調べ、理解することができた。

●租税教室によって、税金の使われ方を知ることができたが、税金に関する授業は少ない。少しでも税金について知ることができるように、機会を見つけて、継続的に指導していく必要がある。

8 実践を振り返って

今回、租税教室を行うにあたって、事前アンケートを行ったが、子供たちが税に対してあまり理解していないことに驚いた。租税教室を行ったことで、税の種類や使われ方について詳しく知ることができた。税の大切さを学び、税の必要性について理解することができたようである。実践授業後、子供たちから「世界の税をもっと知りたい。」との声を聞いた。学習したことで税について興味を持ったようである。自主学習等での学習として促すことができた。学校の授業では、税について触れる機会が少なく、詳しく説明してもらうことはなかなかないので、このような機会を与えていただいたことをとてもありがたく思う。